

|     |            |
|-----|------------|
| 事業名 | 男女共同参画推進事業 |
|-----|------------|

|      |        |
|------|--------|
| 総事業費 | 131 千円 |
|------|--------|

### ① 計画 (Plan)

|                 |       |          |
|-----------------|-------|----------|
| 長期振興計画<br>の位置づけ | 施策名   | 地域力の向上   |
|                 | 基本事業名 | 地域の担い手育成 |

### ② 実施 (Do)

|              |                                  |   |
|--------------|----------------------------------|---|
| 事業の意図        | 市民一人ひとりが「男女共同参画社会の視点」を持った行動ができる。 |   |
| 事業の実績<br>と成果 | 取組内容                             | 第4次西之表市男女共同参画基本計画の進行管理のため、令和5年度の各課の取組と令和6年度の目標について取りまとめを行った。<br>市職員だけでなく、区長会や集落支援員も対象として男女共同参画研修会を行った。<br>その他、県からの情報を市民や商工会等関係機関に広報、共有した。 |
|              | 成果                               | 取組は行っているが、成果としては見えにくい。  |

### ③ 振り返り (Check)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題<br>(事業担当者記入)          | 男女共同参画に関する研修会を企画しても、男女共同参画の考え方を理解してほしい人が参加しない状況にある。<br>市民一人ひとりが男女共同参画社会を正しく理解する機会を今後も創出していく必要がある。   |
| 評価結果の根拠<br>及び今後の課題<br>(担当課長記入) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○女性活躍の場を創出し、男女共同参画の視点に立った地域活動・地域づくりを推進する人材を育成するとともに、その活動を支援する。</li> <li>○性別や年齢等にかかわらず広く住民の中から活動の担い手を育成し、方針決定過程への女性の参画拡大を図る。</li> <li>○市民生活に係る施策の策定・実施を担う市職員の男女共同参画意識は、施策を通して本市における男女共同参画社会の形成に直接影響を及ぼすことから、全ての職員が男女共同参画について正しく理解するための研修を継続して実施する。</li> <li>○広報活動を通じた男女共同参画に関する普及・啓発が「県男女共同参画週間」等の一部の期間の実施となり年間を通じた普及啓発活動の取組が不十分である。</li> <li>○「第4次西之表市男女共同参画基本計画」の期間が令和7年度で終了、令和8年度からの第5次計画を令和7年度に策定する。</li> </ul> |

### ④ 改善 (Action)

|            |  |
|------------|--|
| 2025年度 方向性 | 男女共同参画についての考え方について、様々な機会を通じて市民への意識啓発活動を行う。<br>男女共同参画社会を正しく理解するための広報・啓発活動の推進と実現に向けた取組を推進する。 |
|------------|--|

#### 【参考資料】

| ※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等  | 説明   |
|---|--|
|  | 男女共同参画に対する意識を高めるため、市職員、校区長、集落支援員、男女共同参画懇話会委員を対象とした研修会を行った。 |

|     |          |
|-----|----------|
| 事業名 | 市民活動支援事業 |
|-----|----------|

|      |       |
|------|-------|
| 総事業費 | 47 千円 |
|------|-------|

### ① 計画 (Plan)

|                 |       |          |
|-----------------|-------|----------|
| 長期振興計画<br>の位置づけ | 施策名   | 地域力の向上   |
|                 | 基本事業名 | 地域の担い手育成 |

### ② 実施 (Do)

|              |   |   |
|--------------|---|---|
| 事業の意図        | 市民が主体となって行うボランティア、NPO活動、地域コミュニティ活動を、自主的・自発的に取り組む。 |   |
| 事業の実績<br>と成果 | 取組内容  | 市政出前講座の開催、優良地域づくり団体の表彰、地域活動支援用備品の貸出しを行い、地域活動を支援した。            |
|              | 成果  | 表彰を行うことで、表彰団体の活動意欲向上に繋がる。<br>備品貸出により、地域内清掃が充実することで居住環境が改善される。 |

### ③ 振り返り (Check)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題<br>(事業担当者記入)          | 目に見えて成果が出にくい事業であるので、継続して市民活動を支援していく体制が必要である。  |
| 評価結果の根拠<br>及び今後の課題<br>(担当課長記入) | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市政出前講座等の開催により、市の施策や行政の取組について対話と交流を図り、市政への市民の理解と協力を深めていく取組をさらに推進する。</li> <li>○地域や各種地域づくり団体が地域・市民活動に必要な備品の適正管理に努め、地域・市民活動が円滑に実施できるよう環境づくりを推進する。</li> <li>○性別や年齢等にかかわらず広く住民の中から活動の担い手を育成し、男女共同参画の視点に立った地域活動・地域づくりを推進する。</li> <li>○全12校区で「地域と市長と語る会」を開催し、市民と市政について直接語り合う機会を持ち市民の声が届く市政を推進する。</li> </ul> |

### ④ 改善 (Action)

|            |   |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | <p>令和7年度から次の事業を市民活動支援事業に統合して取組み、引き続き市民活動の支援を行う。</p> <p>①市民総合賠償補償保険事務、②NPO支援事業、③共生・協働推進事業、④地域活性化センター参画事業</p> |
|------------|---|

|     |              |
|-----|--------------|
| 事業名 | 婚活応援プロジェクト事業 |
|-----|--------------|

|      |          |
|------|----------|
| 総事業費 | 2,549 千円 |
|------|----------|

## ① 計画 (Plan)

|                 |       |          |
|-----------------|-------|----------|
| 長期振興計画<br>の位置づけ | 施策名   | 地域力の向上   |
|                 | 基本事業名 | 地域の担い手育成 |

## ② 実施 (Do)

|              |   |  |
|--------------|---|--|
| 事業の意図        | <p>出会いの場を提供することにより結婚のチャンスをつかんでもらう。</p> <p>ライフデザインを行う機会を提供することにより、若い世代への結婚支援の入り口とする。</p> <p>本市で結婚や子育てをすることの魅力伝える動画を作成し、独身男女の結婚意欲増進を図る。</p> |  |
| 事業の実績<br>と成果 | 取組内容  | <p>結婚を希望する独身男女の「出会いの場」創設のため、婚活イベントを3回開催した。参加者にはイベント開催前にオンラインでセミナーを受講してもらった。</p> <p>地域で婚活をサポートする人材を確保するため、市職員や集落支援員を対象とした養成講座を開講した。</p> <p>本市での結婚生活や魅力を発信するため、タペストリー等のグッズを作成した。</p> |
|              | 成果  | <p>婚活イベント3回合計の参加者は男性22人、女性18人、マッチング数は16組であった。</p> <p>婚活サポーター養成講座は、計11人が受講した。</p> <p>本市での結婚子育ての魅力発信のため、タペストリー3枚、のぼり3枚、ミニフラッグ3本を作成した。</p>  |

## ③ 振り返り (Check)

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 事業実施上の課題<br>(事業担当者記入)          | <p>婚活イベントへの女性参加者の確保が難しかった。また、マッチングしたもののその後継続的に連絡を取り合う方が少なかった。</p> <p>新たに創設した結婚祝金については、交付要件をつけているが様々なケースが考えられるので、状況を見つつ修正が必要であれば検討していきたい。</p>  |
| 評価結果の根拠<br>及び今後の課題<br>(担当課長記入) | <p>○令和6年度までの本市の結婚支援は結婚を希望する人の「出会いの機会・きっかけづくり」をサポートする婚活応援イベントを中心に行ってきた。イベント終了後から結婚に至るまでのフォローが難しく成果が見えにくいとの評価があり、令和7年度からの事業内容の見直しを行った。これまで行ってきた結婚を希望する人の「出会いの機会・きっかけづくり」については、県に配置された結婚支援コンシェルジュ等と連携しながら本市のニーズに応じた結婚支援を行う。</p> <p>○令和7年度から新婚世帯を対象に1世帯10万円を支給する「結婚祝金」制度を新たに創設した。「結婚祝金」の創設にあたり国の「地域少子化対策重点推進交付金」の活用を検討したが、対象者の年齢が39歳以下や所得制限があるため一般財源でどの世帯に対しても平等に支給する制度とした。新しい家族の誕生を支援することで子育て世代の移住定住を促し、新婚世帯への各種費用助成などの結婚支援を糸口に「婚活移住定住」の取組を推進する。</p> |

## ④ 改善 (Action)

|            |   |
|------------|---|
| 2025年度 方向性 | <p>結婚を祝福し、夫婦の新しい人生を応援するため、1夫婦10万円の結婚祝金を支給する。</p> <p>引き続き、結婚を希望する独身男女の支援を行う。</p> |
|------------|---|